

1. 緑には寒色系のホワイトバランス

これが一番変化が大きいはず！

木々の緑を印象的に出すには、ホワイトバランスを寒色系の設定にするのがおススメ。今回はホワイトバランスを「(白色) 蛍光灯」にしてみました。



2. WB補正でグリーン増し増し

ホワイトバランスを寒色系にただけでもだいぶ印象が変わりましたが、できればもう少し鮮やかな緑にしたいです。そんなときはWB補正で**グリーン (G)**を多めに設定します。また、蛍光灯はもともと少しマゼンタ（ピンク系の色）が強くなる設定なので、補色であるグリーンを他よりもさらに強めにするとGOOD。

設定する値は機種によってマチマチですが、中間～最大の間で調整してあげるといいと思います。始めに大きく設定し、あとで微調整するのがいいです。

『蛍光灯+グリーン増し』した結果がこちら！



まとめ

まず最初に覚えるのは、“白色蛍光灯、太陽光、くもり”の3つ。だんだん慣れてきたらさらに、“白熱電球、日陰”の2つも使えるようになるとステキです。

色のイメージとしては、下記のように太陽光を基準として、左に行けばより青く、右に行けばより赤くなります。

白熱電球 > 白色蛍光灯 > 太陽光 > 曇り > 日陰